

2007年7月16日新潟中越沖地震 7月16日調査報告

加藤大介・中村友紀子（新潟大学）

7月16日10時13分ころ、新潟県上中越沖で地震が発生し、この地震により、新潟県の長岡市小国町、柏崎市西山町と刈羽村と長野県飯綱町で震度6強が観測されました。

本日被災地に向かったので、その概要を簡単に報告します。

13:30 新潟大学発

14:45 K-NET 寺泊

K-NET 寺泊は、寺泊小学校グラウンド脇に設置されている。急傾斜のがけ上の端に位置していた。(写真1-3) 校舎はRC3階建てでブレースによる補強がなされている。被害なし(写真4-5)。隣地の墓地(写真6)

国道402号線—国道352号線を通り出雲崎町を通過、途中土壁の落下した木造建物が見られた。

国道116号線に入ると小木番場付近から周辺の家屋の瓦屋根の被害が増え始めた。また、国道路面には亀裂が多い。途中15:37頃余震を感じる。渋滞で進まないため市野坪から県道574号へ出る。途中ブロック塀の倒壊あり、接合部にダボ鉄筋が4cmほどだけ出ている(写真7-8)。

16:50 内郷小学校前を通過

RC3階建て校舎・体育館はともに道路側から見る限り被害はなかった。ただしJointの金具は落下。体育館は使用中だった。(写真9-11)

石地を過ぎると路面の被害が激しく、途中片側しか通行できない部分多い。渋滞が激しいため中村が徒歩で柏崎市西山町事務所へ向かう。ブロック塀の倒壊(写真12-13)、基礎からずれている木造家屋(写真14)などが見られる。下山田あたり道路陥没ひどく、礼拝駅を越える高架も段差陥没多い(写真15-17)。液状化の跡あり。

17:40 柏崎市西山町事務所(写真18)

RC3階建ての建物内部は家具など散乱する中で役所の方は打ち合わせをしておられる様子。予備電源らしき明かりが見えた。震度計は、写真19の建物入り口と建物間に設置されていた(写真20)。液状化の跡あり(写真21)。写真22-24は周辺の様子。

消防の方の誘導で避難所へ向かうお年寄りとすれ違う。近くに外壁の一部が落下したS造建物あり。

18:00 ごろ、県道574号を戻る。JA倉庫付近新潟方面が陥没の為使用できず、新潟方面に向かう車が反対車線を逆送しており柏崎方面は通行止め状態となっていた。被害箇所が多く交通整理が追いつかない様子。加藤先生の車に合流、石地から国道116号線に入り帰路につく。石地から南は通行止めだった。出雲崎あたりまでは、10cm以上あると思われる陥没、ひび割れが多く通常なら通行止めとなってもおかしくないと感じた。

19:45 新潟大学着



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9



写真 10



写真 11



写真 12



写真 13



写真 14



写真 15



写真 16



写真 17



写真 18

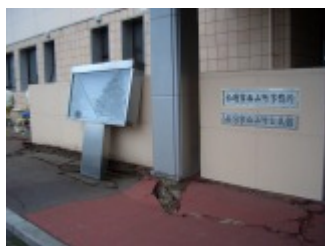


写真 1 9



写真 2 0



写真 2 1



写真 2 2



写真 2 3



写真 2 4

(文責：中村)